

「新しいまち」の名称選考委員会 (1月10日)

名称案の募集段階では、決定した名称を大字にできるかどうか不明確であったものの、140案の応募をいただき、ありがとうございました。



以前より協議会が大字として使用できるよう要望していましたが、「新しいまち」の名称を“矢本”や“大曲”のような大字として使用できることになりました。

住所はこれから長い間使うものなので、委員会では、もう少し時間をかけて選定することとし、大字にすることを前提に、協議会員、東矢本駅北地区に現在お住まいの方々、前回の募集で応募いただいた方を対象に「新しいまち」の名称案の追加募集をします。

追加の名称案は、すでに応募いただいた140案と合わせて委員会で絞り込み、皆さんと東矢本駅北地区に現在お住まいの方々に投票をお願いすることになります。

後日、募集要項等をお送りいたしますので、ぜひ、あらためて「新しいまち」の名称案の追加募集にご協力ください。



名称選考委員会の様子

編集後記

新しい年になりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

広報部会は、今年も昨年に引き続きまちづくり通信の発行が活動の中心です。毎号発行前には、協議会の進捗状況を確認しながら、わかりやすい紙面になるよう時間をかけて編集作業を行っています。

今年も協議会としてやらなくてはいけないことがたくさんありますので、常に新しい情報をお知らせできるよう、アンテナを張り巡らせて活動していきたいと思っております。
(広報部会長 土門一枝)

皆様からのご意見、ご感想をおまちしております。((集団移転に関する何でも相談窓口) 開設中)
東矢本駅北地区まちづくり整備協議会

〒981-0503 宮城県東松島市矢本字町浦 84 番地 としまち研東松島事務所内 (事務局: 阿部久美子、青山秀明)
Tel : 0225-98-5291 / fax : 0225-98-5293 / E-mail : higashimatsushima@tmk-web.com

(仮称)「ペットの飼い主の会」 準備会開催 (1月10日)

(仮称)「ペットの飼い主の会」(以下、「会」という。)設立のための準備会を、大きな犬を飼っている協議会役員の津田金一さんが呼びかけ人となり、開催しました。



(仮称)「ペットの飼い主の会」準備会の様子

ペットを飼っていない人も含めて7名が参加し、会の設立に向けての打ち合わせを行い、

- ①ペットを飼っている世帯は全員会員とし、飼っていない人も含めて委員になってくださる方を募集する
- ②対象となるペット(犬、猫、小鳥など)の範囲を決める
- ③ペット飼育細則などを決める

など気持ちのよい住宅団地にするために取り組むことを確認しました。

今回は、2月13日(木)午後6時から、会の設立総会を開催し、会の名称を決める、委員の中から数名の役職を決めるところから始めます。

第13号 平成26年1月22日

東矢本駅北地区 まちづくり通信

発行 東矢本駅北地区まちづくり整備協議会 広報部会

目次

- 会長 新年のあいさつ.....1面
- 「街並みルール」(案)説明会開催.....1面
- 第20回役員会開催(各部会の昨年の活動と今後の活動).....2~3面
- 「新しいまち」の名称選考委員会.....4面
- (仮称)「ペットの飼い主の会」準備会開催.....4面



2014年元旦 野蒜海岸の初日の出

小野竹一会長 新年のあいさつ

皆さん、明けましておめでとうございます。

協議会では、年間で110回以上の部会や役員会、交流会、勉強会等を行い、昨年11月に個別に家を建てる方々の区画を決定しました。これも役員の方々や会員の皆さんのご苦勞、ご協力、ご理解によるものです。心より感謝申し上げます。



これまでたくさんの活動をしてきた協議会ですが、これからも課題はまだあります。

【災害公営住宅について】

- ・住戸形態・間取りの検討、友人や頼れる人と近くに住みたい、ペットと一緒に暮らしたい等の要望について市への提案や交渉。
- ・住戸位置決めルールの検討、実施。

- 【公共施設について】
- ・公園や集会所等の公共施設が楽しく、使いやすくなるような検討・協議。

【街並みについて】

・将来にわたって住みやすい街並みを維持するため、家を建てる際の「街並みルール」の策定。

【「新しいまち」の名称について】

・「東松島市〇〇」の〇〇部分(大字)となる、「まちの名称」の選考。

【コミュニティの形成・自治組織について】

・今年秋に入居可能予定となる災害公営住宅 47世帯と1年~2年後くらいから住み始める方々とのコミュニティをどのようにつくっていくかの検討。

・住民の安心・安全な暮らしをどのようにつくり、守っていくのかの検討(地域の人が支え合い、支援する組織とはどのような形態なのかを検討したいと思います)。

「日本一住みよいまち」をつくるために今年も皆さんと一緒に笑顔で前に進みましょう!!

工務店等向け「街並みルール」(案)説明会開催 (1月24日)

街並み検討部会で作成した「街並みルール」(案)の内容をご理解いただくため、工務店等向けの説明会を開催します。

個別に家を建てる世帯の方で、工務店等が決まっている方は、ぜひ参加するようにお願いします。

日時 平成26年1月24日(金)
午後3時より
場所 東松島市コミュニティセンター
2階会議室

内容
①「街並みルール」(案)の説明・質疑応答
②工務店等関係者(設計事務所等含む)の組織化の提案

第20回役員会開催（1月11日）

大曲市民センターにて、今年初めての役員会を開催し、部会ごとの今年の活動方針について協議しました。



役員会の様子



「街並みルール」(案)

【宅地・公共施設計画検討部会】

《昨年の活動》

部会で土地利用計画案を取りまとめ、2月の総会に提案、承認されました。

《今後の活動》

公園・集会所・ゴミ集積所・道路・調整池などの公共施設について、市の具体的な案・条件などの提示を受け、ワークショップなどを開催し、皆さんの意見や要望を反映させた施設案を検討していく予定です。

ワークショップ開催時には、多くの皆様の参加をお願いします。

【区画決定ルール検討部会】

《昨年の活動》

個別に家を建てる世帯の区画決定手順を検討し、8月初めから、その手順の説明、ブロック決定、区画決定の過程を経て、ほぼ全世帯の区画を決定しました。あと数世帯の区画が決定すると、部会としての役割は終了します。

区画決定の過程は複雑な部分もあり、決定した区画に対して不満のある方もいたかもしれませんが、皆さんのご協力のもと、決定することができました。

ご協力ありがとうございました。



区画調整会（11月23日、24日）

各部会の昨年の活動報告と今後の取り組み課題です。部会長を中心に今年も頑張りますので、ご協力よろしくお願いします。



協議会大交流会（6月29日）

【研修・イベント部会】

《昨年の活動》

2回の交流会を行いました。

- ・協議会大交流会（6月29日）
- ・被災地復興支援音楽祭（10月12日）

《今後の活動》

ブロックごとの交流会や、災害公営住宅の住戸位置が決定したらエリアごとの交流会も企画したいと思います。

交流会を行うことで、これから一緒に住む人同士、ご近所同士が顔を合わせるよい機会となりますので、引き続き、年に数回の交流会を行ってほしいと思います。交流会開催の際は、ぜひご家族で参加してください。



被災地復興支援音楽祭（10月12日）

【街並みルール検討部会】

《昨年の活動》

部会主催の勉強会を3回行いました。

- ・「街並み」勉強会（5月27日）講師：二瓶正史氏
- ・「家づくり」勉強会（10月30日）講師：山本厚生氏、住宅生産振興財団、金融機関
- ・「まちづくり」勉強会（11月15日）講師：山崎山洋氏、齊藤広子氏

また、個別に家を建てるゾーンの「街並みルール」案を作成、11月21日に会員向けの「街並みルール」説明会を開催しました。

《今後の活動》

現在のルール（案）に皆さんの意見を反映させるためワークショップを開催し、そのうえで、内容の再検討を行い、総会をもって決定します。なお、この「街並みルール」（案）は、地区計画（条例）等とする予定です。

住宅を建てる工務店などには、この「街並みルール」（案）の徹底を図るため、連絡協議会等の組織をつくることを呼びかけます。



「街並みルール」説明会（11月21日）

【広報部会】

《昨年の活動》

11回のまちづくり通信の編集・発行を行いました。

また、「新しいまち」の名称選考のための名称選考委員会の組織化を行いました。

《今後の活動》

皆さんへ必要なときに必要な情報をお知らせできるよう、引き続きまちづくり通信を発行していきます。



【災害公営住宅部会】

《昨年の活動》

先行街区の基本設計プランの説明を市から受け、平屋建て住戸の希望や間取り変更の要望を出しました。また、小野駅北地区の、宮城県北部連続地震の後に建てられた災害公営住宅や建設中の災害公営住宅を視察し、意見交換を行いました。

《今後の活動》

入居世帯（307世帯）の決定が1月末とのことですので、確定次第、基本設計プランの説明会の開催、住宅タイプの希望調査を実施することを市に要請しています。部会では、それまでに市の基本設計プランに対する変更の要望等の検討を行っていきます。

住宅タイプの希望調査後は、住戸位置決めの手順を検討していきます。

また、災害公営住宅ゾーンの「街並みルール」の検討も行っていきます。できるだけ皆さんの希望が反映できるように部会員一同、さらにながら行ってきたいと思います。